

## JMOOC 講座

### 1. 概要

インターネットを利用したオープン教育は、学生に対する学修補助効果、教育の質の向上が期待されるだけでなく、「大学の知」を社会に還元する社会貢献にもつながるものであり、本学の新たな「価値」「意味」を創出する役割を担うと考えられる。また、国内のみならずグローバルに本学の知名度を高める広報効果が期待できる。

本学は 2014 年度より日本オープンオンライン教育推進協議会（JMOOC）に加盟し、JMOOC 公認配信プラットフォーム「gacco」にて毎年 1～2 講座を開講してきた。2023 年度は 1 講座を JMOOC 公認プラットフォーム「gacco」にて開講した。

### 2. 利用状況

#### (1). 開講講座情報

講座名：社会経済のビッグデータ解析

講師：人工知能科学研究科 大西立顕 教授

開講期間：2024 年 1 月 10 日（水）～ 3 月 25 日（月）

反転授業：2024 年 2 月 17 日（土）14：00～16：00

受講登録者数：1,855 名

受講修了者数：340 名

修了率：18%

反転授業参加者：15 名



図 1：コースカード

## (2). 反転授業

2024年2月17日(土)に池袋キャンパスにて反転授業が行われた。ビッグデータの様々な活用事例の紹介を含む講義のあと、「ビッグデータの新たな活用を考える」というテーマでグループ討議・発表が行われ、各グループから多様な意見が挙げられた。質疑応答では専門的な質問も多く寄せられ、参加者のほとんどがオンラインでしっかりと事前学習を行ったうえで反転授業に臨んでいる様子であった。

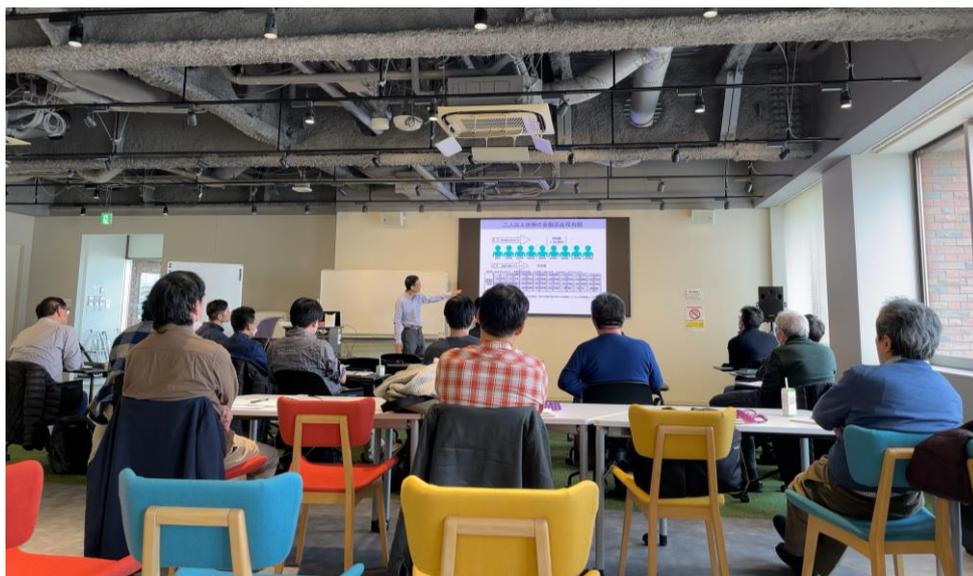


図2：反転授業の様子

## (3). 講座アンケート集計

JMOOC 配信プラットフォームを運営している株式会社ドコモ gacco から提出された「受講状況等各種集計結果と受講者からのアンケート結果についての分析報告書」より一部抜粋する。

### ① 受講状況

	受講者数	ディスカッションスレッド数	修了率
社会経済のビッグデータ解析	1,855	29	18%
gacco講座平均 (2022年度平均)	2,167	87	18%

② 性年代別受講状況

	男性							女性							その他
	10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	
受講登録数	7	101	165	260	347	256	112	2	60	82	110	105	37	10	201
受講登録構成比	0.4%	5.4%	8.9%	14.0%	18.7%	13.8%	6.0%	0.1%	3.2%	4.4%	5.9%	5.7%	2.0%	0.5%	10.8%
他講座平均	1.6%	9.6%	12.1%	13.5%	11.0%	6.3%	2.8%	3.2%	5.2%	5.6%	5.7%	4.1%	1.3%	0.3%	17.6%

③ 職種（受講前）

カテゴリ	実数	%
01. フルタイム	460	69.8%
02. パートタイム、アルバイト	46	7.0%
03. 専業主婦（夫）	13	2.0%
04. 無職	104	15.8%
05. 小学生	1	0.2%
06. 中学生	1	0.2%
07. 高校生	1	0.2%
08. 短大生・高専生・専門学校生	1	0.2%
09. 大学生	16	2.4%
10. 大学院生（修士課程）	7	1.1%
11. 大学院生（博士課程）	1	0.2%
12. 上記以外の学生	8	1.2%
回答数合計	659	100.0%

④ 本学との関係（受講前）

カテゴリ	実数	%
01. 立教大学の在学学生である	5	0.8%
02. 立教大学の附属・系属校の生徒である	0	0.0%
03. 立教大学の卒業生である	14	2.1%
04. 立教大学に勤務している	1	0.2%
05. 立教大学を受験したい（または子供に受験させた い）と考えている	5	0.8%
06. 立教大学とはまったく関係がない	634	96.2%
回答数合計	659	100.0%

⑤ 講座満足度（受講後）

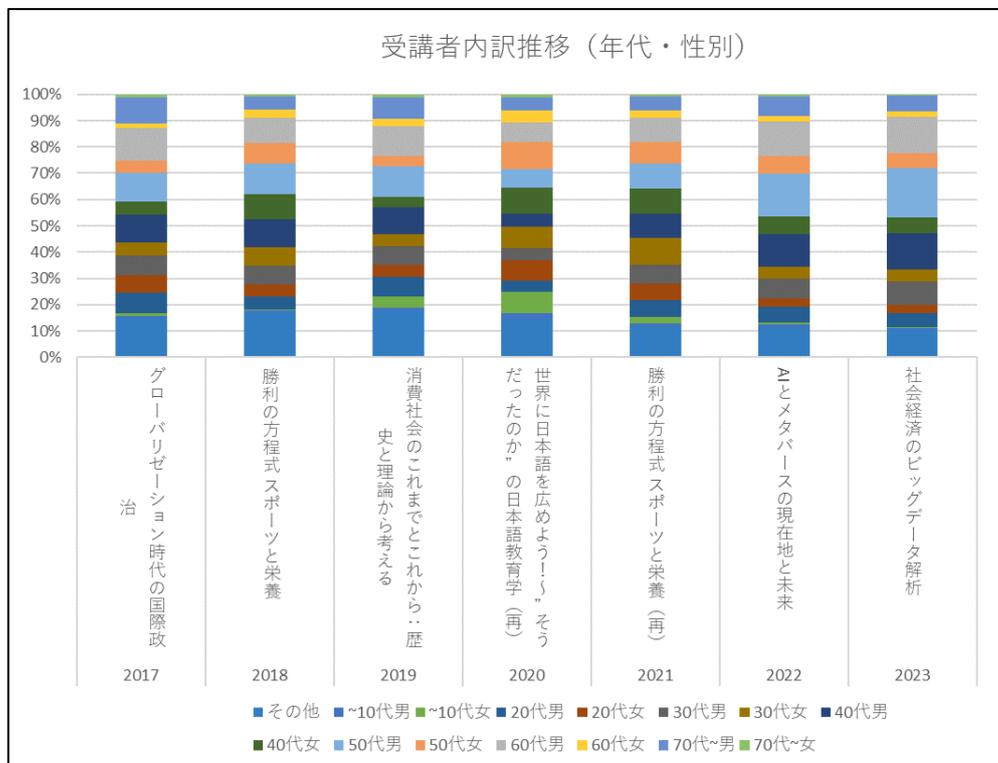
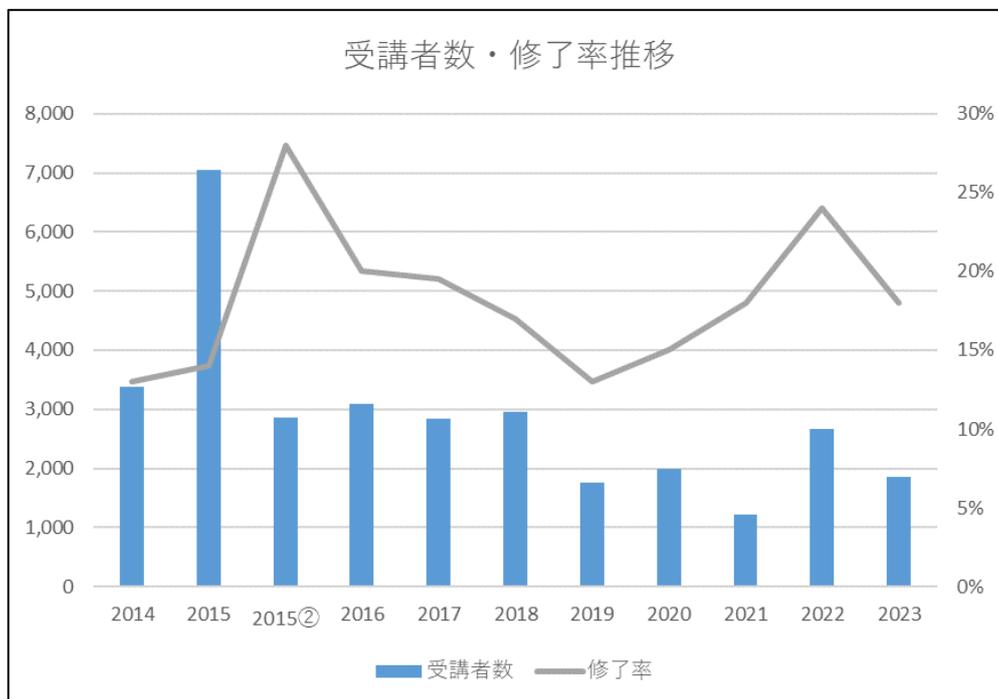
カテゴリ	実数	%
01. 大変満足	102	43.3%
02. まあ満足	122	51.5%
03. やや不満	9	3.8%
04. 不満	4	1.7%
回答数合計	237	100.0%

⑥ オンライン学習で継続して学びたい分野（受講後）

カテゴリ	実数	%
01. 一般教養	165	31.9%
02. 直接仕事と関係のない分野の知識	98	18.9%
03. 最新のトレンドや動向	179	34.6%
04. 普遍的な哲学	62	12.0%
05. その他	14	2.7%
回答数合計	518	100.0%
回答人数合計	237	

注：③以降は任意アンケートの結果であり、また受講前アンケートと受講後アンケートの回答者は一致しない。

【参考】過年度推移



### 3. 2023年度のまとめ

2022年度に引き続き、人工知能科学研究科提供の講座を開講した。過去の開講講座と比べて専門性の高い講義であり、また、受講の前提条件として高校数学の基礎知識を求める記載をしていたこともあってか前年度よりは受講者数は減少した。一方で、前年度よりもディスカッションが活況で、高度な質問が多数寄せられ、熱心に受講する層が見受けられた。

「受講者内訳推移（年代・性別）」の図から分かるとおり、過去7年間の開講講座における受講者の属性として30代～50代男性の割合が過去最高となった。反転授業の参加者の中にも、「仕事でデータ分析を行う必要が出てきた」「マーケティングの仕事をしており、ビッグデータを活かしたい」という動機で受講したという声が聞かれ、社会人のリスキル目的での受講が多かったことが推察できる。

他方で10代・20代の割合が過去最低であった。今回は本学の学部生の受講を促すため、立教時間でのお知らせ掲示や、SPIRIT上のJMOCページの改修を行ったが、効果が得られなかった。学内の周知方法については引き続き検討をしたい。また、2024年度はスポーツウエルネス学部の講座提供が予定されている。本講座は高校生（受験生）への学部広報効果も期待できることから、入学センター等とも連携して周知を行い、若年層の受講者獲得を目指したい。